

スクラム

ひがしいくのちゅうがっこうちようしつ

東生野中学校校長室だより 第11号令和8年7月17日

えんせん せんそう いや おも せんそう きら
厭戦：戦争をするのを嫌に思うこと。戦争を嫌うこと。

いま ねんまえ ねん しょうわ ねん がつ にち おきなわ ちじようせん ぱじ
今から 81年前の 1945年・昭和20年3月26日に沖縄での地上戦が始まり、8
月6日広島に、8月9日長崎に原子爆弾が投下されました。そして、8月15日に
しゅうせん むか ひろしま やく まんにん ながさき やく まん 4000 にん とうと いのち うしな
終戦を迎えます。広島では約14万人、長崎では約7万4000人の尊い命が失わ
れました。この数字は1945年12月末の数で、その後も多くの方がお亡くなりにな
られています。

わたし ちゅうごく しゅうせい さいわ い かき
私のおじいちゃんは中国へ出征しています。幸いなことに生きて帰ってくるこ
とができました。おじいちゃんはブリキ屋さんで家の建築にかかわる仕事をしてい
たお陰で戦場では主に兵隊さんの基地や小屋を作る任務のため直接、前線で戦
うことがなく戦闘には参加しなかったようです。おばあちゃんは大阪に住んでい
ましたが空襲から逃れるために奈良の吉野へ疎開していました。

その後、終戦を迎えましたがすぐにおじいちゃんは帰ってきません。幼い娘4人
(息子は1歳で亡くしています。)を連れていたおばあちゃんの生活は苦労の連続だ
ったようです。物々交換をしたり闇市へ買い出しに行ったりと必死に生きていまし
た。おばあちゃんの口癖は「絶対、戦争はしたらあかん。」そして次のようにも言っ
ていました。「平和への祈り、戦争で亡くなった方々のご冥福を祈り、戦争がないこ
とを願うこと。祈りや願いは必ず叶う。それから身近な平和が大事やで。」身近な
平和とは家族や親戚などの身近な人が仲良くすることです。

おばあちゃんからは戦争時代の話をよく聞いていました。しかし、おじいちゃん
は多くを語りませんでした。

いま わたし へいわ じだい い せかい め む せんそう
今、私たちは平和な時代に生かされています。しかし、世界に目を向ければ戦争
が起こっています。この日本の平和をいつまでも続けることが私たちの使命です。
そして、いまさに起こっている世界各地での戦争が一日も早く終わること、世界
へいわ いの ねが だいじ えんせん おも 持ち 続け なければ なり ません。そして、
家族が仲良く、クラスや学年の仲間、東生野中学校に学ぶすべてのみなさんが
仲良くすることが厭戦を実践することです。

がんば
頑張りました。

ラグビー部 おおさかしみなみちく ねんせいたいかい ゆうしょう
大阪市南地区2年生大会 優勝
おめでとう

校長 角田眞章